



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



柔道を通して国際交流を行う

7月22日、鹿屋体育大学と肝属地区柔道会との国際交流を行うため市を訪れたフランス・マルセイユ柔道クラブの11人が市役所を表敬訪問しました。記念撮影が行われた後、同クラブのコーチで日本を初めて訪れたヘレンさんが「日本の文化に触れ感動しました。親切にしてくれる鹿屋の人たちに感謝しています」と話してくれました。



家庭教育講演会を開催

7月19日、市文化会館で「家庭教育講演会」が開催されました。当日は、熊本県立大学教授の石橋 敏郎氏による講演が行われ、小・中・高校のPTA会員や市民など631人が参加。講演では、体験談を交えながら、良好な親子関係を築くためのアドバイスが行われ、参加者たちは、身近に感じられる話に、真剣に聞き入っていました。



国際協力体験でカンボジア王国へ

7月18日、鹿児島県青少年国際協力体験事業でカンボジア王国へ派遣される高校生が市役所を表敬訪問しました。2人は、鹿屋農業高校3年生の上蘭 晴日さんと鹿屋女子高校2年生の山口 花さんと、7月20日～27日まで、農村や学校での交流やホームステイ、教育・環境分野で活躍している青年海外協力隊の活動視察などを行います。



世界の選手から一流の技を学ぶ

7月13日、串良平和アリーナでバドミントン教室が行われ、市内の小中学生72人が参加しました。講師は「寿北バドミントンスポーツ少年団」でバドミントンを始め、国内外で活躍中の前田 美順選手と、同チームの城口 優里花選手、カレル マイナキコーチ（ルネサス所属）の3人。北京オリンピックで、「スエマエ」として名実ともに世界の一流となった選手の技を学ぼうと、子ども達は真剣に耳を傾けていました。また、教室の最後にはミニゲームも行われ、参加者は間近で見るレベルの高いプレーに感動していました。



鹿屋 水の恵みに感謝 鹿屋六月燈を開催

7月12日、北田商店街・まちなかパーク周辺で「水神ゆかた祭りふるさと鹿屋六月燈」が開催されました。祭りでは、神事が行われ北田水神と西大手水神に祭りの安全を祈願。子どもたちが威勢よく神輿をかついで商店街を練り歩いたほか、なが〜いソーメン流しも行われました。また、鹿屋女子高校の生徒による浴衣ショーや参加者によるハンヤ踊り、AKB48のヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」の六月燈バージョンのダンスなどが披露され、会場を訪れた観客は祭りを楽しんでいました。



産科医師不足の対応策を話し合う

7月28日、大隅地域で今後、危惧される産科医不足の対応策を話し合う大隅4市5町保健医療推進協議会が発足し、市役所で初会合が開催されました。会合には大隅4市5町の首長や議長、4医師会、医療機関の医師など約40人が参加。大隅地域の産科医療体制の維持と確保に向けて広域で協力して取り組むことが確認されました。



串良 「関東串良会」総会

7月27日、東京の日本青年館で「関東串良会」総会が開催されました。当日は、100人を越える会員の出席があり、総会後の抽選会では、ふるさと串良から提供された焼酎や農畜産物のお土産を獲得するたびに歓声があがりました。また、春に就職した1人の青年も招待され、多くの会員から激励の言葉をかけられていました。



鹿屋 世界的指揮者から直接指導を受ける

7月22日、鹿児島県出身で国際的に活躍している指揮者の下野竜也さんが、田崎中学校吹奏楽部員28人を訪問し指導されました。これは、霧島国際音楽祭の事業の一環で、県内の小中高生を直接指導するもので、今年で5回目。世界的指揮者から、楽器のパートごとに丁寧にアドバイスを受けた部員たちは、目を輝かせながら練習に励んでいました。



星塚敬愛園で夏祭り納涼大会を開催

7月29日、星塚敬愛園で夏祭り納涼大会が開催されました。この祭りは、入所者と地域住民との交流を深めるために、毎年開催されているものです。祭りでは、職員の歌や踊りのほか、歌手の松原のぶえさん、福田こうへいさんの歌謡ショーも行われました。最後は夜空を鮮やかに彩る花火も打ち上がり、夏祭りを楽しみながら、交流を深めていました。



鹿屋市健康まつりで健康度チェック

7月13日、県健康増進センターで「健プラ開設記念イベント」&「鹿屋市健康まつり」が同時開催され、約1,600人が参加。このイベントは、住民の健康意識の向上と同センターの利用促進を目的に開催されたもので、当日は、虫歯危険度測定や血流測定、みそ汁の塩分測定などが行われ、参加者は健康度チェックで健康への意識を高めていました。



平南分団、市成分団が消防操法大会で優勝

7月6日・13日、田崎多目的運動広場駐車場で鹿屋市消防団操法大会が開催されました。この大会は、消防技術の向上を図るために行われるもので、消火動作における団員のチームワークと正確性、迅速性を競い合うものです。小型ポンプ・ポンプ自動車の両部門に各23分団が出場。小型ポンプの部は平南分団が、ポンプ車の部は市成分団が優勝しました。